

Denka

Possibility
of
chemistry

2019年度決算説明 テレフォンカンファレンス

デンカ株式会社

2020年5月13日

経営概況 説明資料 目次

1. 2019年度 決算概要

- ① Denka Value-Up 進捗状況 P. 2
- ② 前年比 (まとめ) P. 3
- ③ 前年比 (増減要因) P. 4
- ④ 前年比 (セグメント別) P. 6

2. 2020年度 業績予想

- ① 前年比 (まとめ) P. 7
- ② 前提条件等 P. 8
- ③ 前年比 (増減要因) P. 9
- ④ 前年比 (セグメント別) P. 11
- ⑤ 株主還元・投資関連数値の推移 P. 12

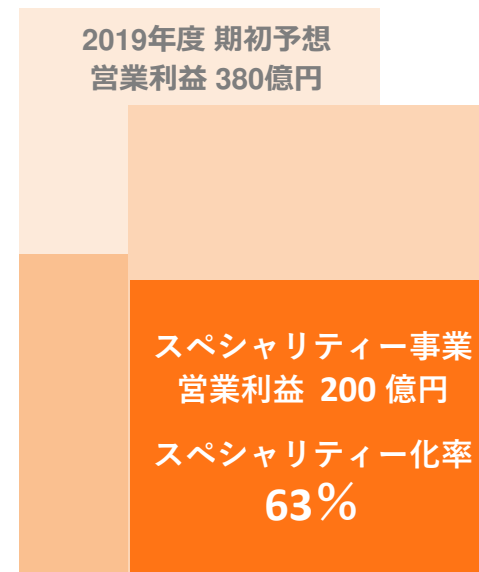
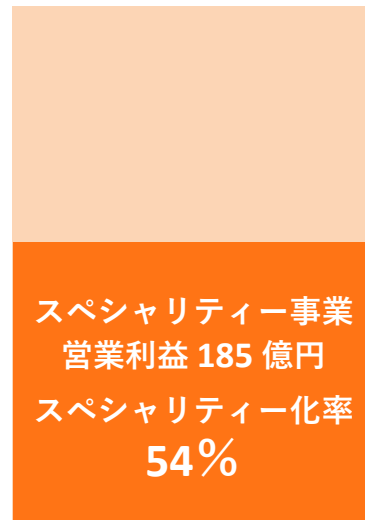
3. スペシャリティー事業の成長加速化にむけて

- ① スペシャリティー事業の成長 P. 13
- ② スペシャリティー事業重要テーマ P. 14

営業利益 **337** 億円
営業利益率 **8.5** %

営業利益 **342** 億円
営業利益率 **8.3** %

営業利益 **316** 億円
営業利益率 **8.3** %



2017年度 (実績)

2018年度 (実績)

2019年度 (実績)

単位：億円

	実績	前年	増減	主な増減要因
売上高	3,808	4,131	▲ 323	イラストマー・機能樹脂 ▲ 33 インフラ・ソーシャルソリューション + 5 電子・先端プロダクツ + 6 生活・環境プロダクツ ▲ 8 ライフイノベーション + 7 その他・消去 ▲ 4
(海外売上高の割合)	(41.0%)	(42.6%)	(▲ 1.6 %)	
営業利益	316	342	▲ 26	← ▲ 26
(営業利益率)	(8.3 %)	(8.3 %)	(+ 0.0 %)	固定資産処分損・持分法損益等 (▲ 16 ← ▲ 14) ▲ 2
経常利益	300	328	▲ 28	← ▲ 28
				災害損失・事業整理損・法人税等 (▲ 73 ← ▲ 78) + 5
純利益	227	250	▲ 23	← ▲ 23

売上高 3,808 (▲ 323)

単位：億円

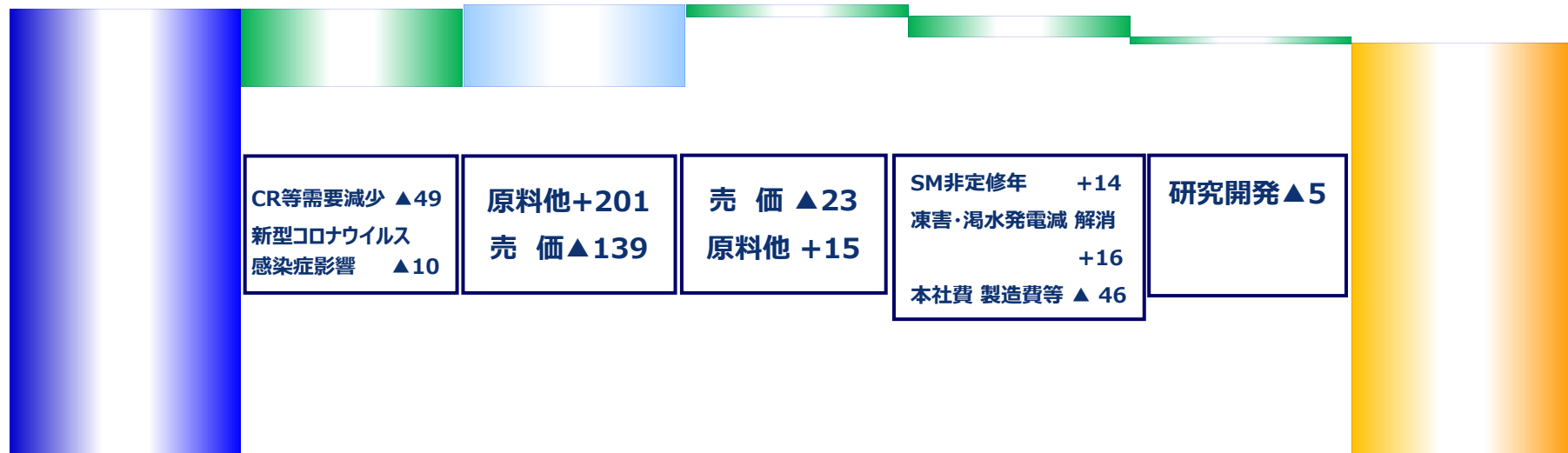
- ① 数量差：クロロプレンゴム等 (▲ 161)
- ② 価格差：原材料価格下落に応じたスチレン系製品販売価格改定等 (▲ 163)

営業利益 316 (▲ 26)

- ① 数量要因：クロロプレンゴム等 (▲ 49)
新型コロナウイルス影響による需要減 (▲ 10)
小計 (▲ 59)
- ② スプレッド：原料他 +201 > 売価 ▲ 139 (+ 62)
- ③ 為替影響：売価 ▲ 23 > 原料他 + 15 (▲ 9)
- ④ コスト要因：SM非定修年 (+ 14)
凍害 (DPE)・濁水 (発電減) 影響解消 (+ 16)
本社費・製造費等(人事制度改革・IT整備含む)(▲ 46)
小計 (▲ 16)
- ⑤ 先行投資負担等：研究開発費負担増 (▲ 5)

単位：億円

2018年度 実績	数量要因	スプレッド	為替影響	コスト要因	先行投資 負担等	2019年度 実績
342	▲59	+62	▲9	▲16	▲5	316



単位:億円

売 上 高	2019年度 実績	前 年	増 減
エラストマー・機能樹脂	1,493	1,792	▲299
インフラ・リソースソリューション	548	548	▲0
電子・先端プロダクツ	680	671	+9
生活・環境プロダクツ	370	390	▲21
ライフイノベーション	355	341	+14
その他 / 消去差	362	388	▲26
合 計	3,808	4,131	▲323

販売 価格差	数量差
▲175	▲124
+15	▲16
+11	▲1
▲9	▲11
▲4	+18
—	▲26
▲163	▲161

営 業 利 益	2019年度 実績	前 年	増 減
エラストマー・機能樹脂	109	142	▲33
インフラ・リソースソリューション	3	▲3	+5
電子・先端プロダクツ	124	118	+6
生活・環境プロダクツ	1	9	▲8
ライフイノベーション	70	63	+7
その他 / 消去差	9	13	▲4
合 計	316	342	▲26

販売 価格差	数量差	コスト差等
▲175	▲62	+204
+15	▲5	▲5
+11	+4	▲8
▲9	▲7	+8
▲4	+10	+0
—	+0	▲5
▲163	▲59	+195

単位：億円

	2020年 予想	前年	増 減	主な増減要因
売上高	3,600	3,808	▲ 208	イラストマー・機能樹脂 ▲ 34 インフラ・ソーシャルソリューション + 17 電子・先端プロダクツ + 11 生活・環境プロダクツ + 4 ライフイノベーション + 0 その他・消去 ▲ 4
営業利益	310	316	▲ 6	← ▲ 6
(営業利益率)	(8.5%)	(8.3%)	(+ 0.2%)	固定資産処分損・持分法損益等 (▲20 ← ▲16) ▲ 4
経常利益	290	300	▲ 10	← ▲ 10
				法人税等 (▲20 ← ▲13) ▲ 7
純利益	210	227	▲ 17	← ▲ 17

前提条件	2020年度	2019年度
為替レート [円/\$]	108.0	109.1
国産ナフサ [円/K ^需]	32,000	42,650

参考数値	2020年度	2019年度	増減
投資	470	369	+101
設備投資		342	
M & A 他	470	27	+101
減価償却費	240	225	+15
研究開発費	160	150	+10
有利子負債残高	1,520	1,343	+177

単位：億円

売上高 3,600 (▲208)

- ① 数量差：電子・先端製品等 (+ 35)
- ② 価格差：原料市況軟化に伴うスチレン系製品販売価格下落等 (▲ 243)

営業利益 310 (▲6)

- ① 数量要因 : 電子・先端製品等 (+ 89) (+ 39)
 新型コロナウイルス影響 ▲10→▲60 (▲ 50)
- ② スプレッド : 原料他 +227 > 売価 ▲ 242 (▲ 15)
- ③ 為替影響 : 売価 ▲ 1 > 原料他 + 1 (▲ 0)
- ④ コスト要因 : その他本社費・製造経費等 (▲ 20)
- ⑤ 先行投資負担等 : 研究開発負担増 (▲ 10)

単位: 億円

2019年度 実績	数量要因	スプレッド	為替影響	コスト要因	先行投資 負担等	2020年度 業績予想
316	+ 39	▲ 15	▲ 0	▲ 20	▲ 10	310



単位：億円

売上高	2020年度 予想	前年	増減
エラストマー・機能樹脂	1,250	1,493	▲ 243
インフラ・ソーシャルソリューション	550	548	+ 2
電子・先端プロダクツ	730	680	+ 50
生活・環境プロダクツ	330	370	▲ 40
ライフイノベーション	380	355	+ 25
その他 / 消去差	360	362	▲ 2
合計	3,600	3,808	▲ 208

販売 価格差	数量差
▲237	▲6
+9	▲7
▲5	+54
▲11	▲29
+1	+24
0	▲2
▲243	+35

営業利益	2020年度 予想	前年	増減
エラストマー・機能樹脂	75	109	▲ 34
インフラ・ソーシャルソリューション	20	3	+ 17
電子・先端プロダクツ	135	124	+ 11
生活・環境プロダクツ	5	1	+ 4
ライフイノベーション	70	70	+ 0
その他 / 消去差	5	9	▲ 4
合計	310	316	▲ 6

販売 価格差	数量差	コスト差等
▲237	▲0	+203
+9	+2	+7
▲5	+31	▲15
▲11	▲9	+23
+1	+22	▲22
0	▲6	+2
▲243	+39	+198

	2016年度 実績	2017年度 実績	2018年度 実績	2019年度 実績	2020年度 予想
当期純利益 (億円)	181	230	250	227	210
1株当たり配当 (※) (円/株)	70.0	105.0	120.0	125.0	未定
配当額 (億円)	62	92	105	108	
配当性向	34 %	40 %	42%	48%	
自己株取得 (億円)	29	23	21		
総還元額 (億円)	91	115	126	108	
総還元性向	50 %	50 %	50 %	48%	
減価償却額 (億円)	244	246	229	225	
設備投資・投融資額 (億円)	269	270	328	369	
ROE	8. ³ %	10. ⁰ %	10. ³ %	9. ¹ %	

※ 当社は、2017年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施したため、1株当たり配当は各期と比較しやすくするために、株式併合後の数値に換算した金額を表示。

2017年度（実績）

営業利益 **337** 億円
営業利益率 **8.5** %

2018年度（実績）

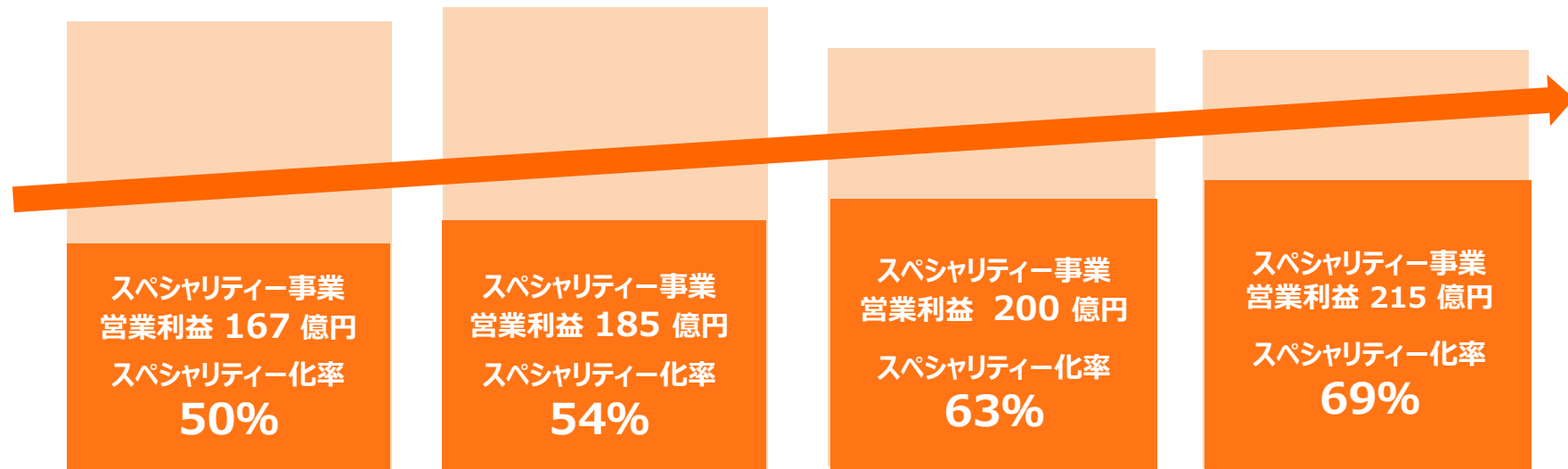
営業利益 **342** 億円
営業利益率 **8.3** %

2019年度（実績）

営業利益 **316** 億円
営業利益率 **8.3** %

2020年度（予想）

営業利益 **310** 億円
営業利益率 **8.5** %



スペシャリティー事業が着実に成長

①新型コロナウイルス感染症対策への貢献

- ・新型コロナウイルス感染症の簡易検査キット開発（イムノクロマト法による抗原、抗体の検出）
- ・イムノクロマト法以外の検査方法の開発（台湾・米国→日本）
（当社が33.4%出資するPlexBio社と協働）
- ・アビガン[®]原料供給（マロン酸ジエチル）
- ・ワクチン開発の基礎検討
- ・医療手袋用クロップレングムの販売拡大

②ヘルスケア分野の新規事業

- ・「G47Δ」がん治療ウイルス製剤
- ・「CANCERPLEX[®]」がん遺伝子パネル検査
- ・多項目を同時に検出する遺伝子検査パネル・診断機器の開発
- ・ノロウイルスワクチン開発（欧州で第1相臨床試験開始）

③環境・エネルギー分野のメガトレンドに即応した製品供給

- ・xEV関連製品の供給拡大
（球状アルミナ・超高純度アセチレンブラック・セラミックス回路基板）
- ・5G、次世代自動車開発“CASE”分野に対応した新製品の開発・投入
（LCPフィルム、高誘電ファイラー、低誘電正接ファイラー）

業績予想の適切な利用に関する説明

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

Possibility of chemistry

Denka